

# ヒトエグサの天然採苗における網高さと葉体の着生状況

福島県水産試験場相馬支場

## 1 部門名

水産業—その他—ヒトエグサ

## 2 担当者

成田 薫

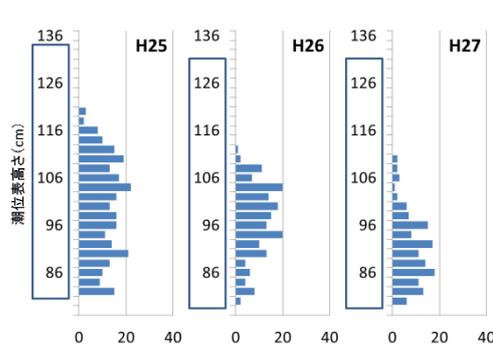
## 3 要旨

松川浦のヒトエグサ養殖で行われている天然採苗については、種場の水温や網高さ等の採苗条件の測定、漁業者の行う種付けの観察及び採苗器試験を実施している。採苗器試験で確認を行った網高さによる葉体の着生状況を整理した。

- (1) 平成 25～26 年のヒトエグサ採苗期間(9～10 月)に松川浦北部のヒトエグサ種場に設置した定点において採苗器(図 1)を設置し、葉体を着生させた。高さ毎に取り付けた試験糸へ着生した葉体を計数し、採苗に有効な範囲を検討した。
- (2) H25～27 の実施結果から、着生する水深帯の高さや範囲は年により変動した(図2)。H27 に実施した採苗器の設置深さを変えた結果からは、概ね着生する水深帯高さは浅場、深場に関わらず共通した(図3)。また、浅場ほど密度が高く着生する結果が得られた。
- (3) 天然採苗における好適な網高さについては、ヒトエグサの着生時期、水温等の要因と潮汐の関係を含めて検討することが必要と思われる。また、漁業者からは休業により種の供給源である母藻の量の不足や種付けの良、不良のばらつきが大きいとの意見も聞えることから、今後の母藻や採苗状況の変化も考慮しながら有効な採苗条件を見極める必要がある。

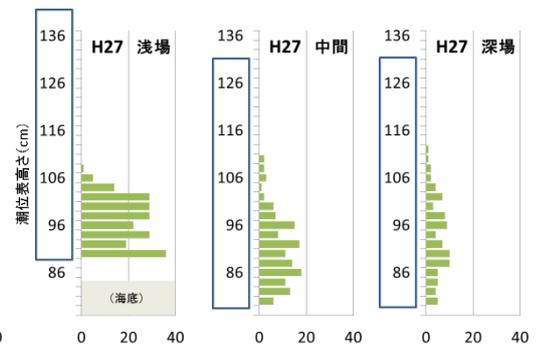


図1 試験に使用した採苗器



着生数(糸20cmあたり) \* 内が採苗器で採苗した範囲  
\* 潮位表は海上保安部潮位推算による。

図2 採苗器によるヒトエグサ着生数 (H25～27)



着生数(糸20cmあたり) \* 内が採苗器で採苗した範囲  
\* 潮位表は海上保安部潮位推算による。

図3 採苗器の設置水深を変えた場合の着生数 (H27)

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度
- (2) 研究課題名 松川浦の増養殖の安定化に関する研究
- (3) 参考となる成果の区分 (発展見込)

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 平成23年度～26年度福島県水産試験場事業概要報告書